



「ジャパン SDGsアワード」  
第1回 受賞

# TSUNAGU 2023

生協・環境・社会活動報告書



# INDEX

## パルシステム東京 について

パルシステム東京の理念	4
パルシステム東京2030ビジョン	5
パルシステムグループ	5
組織概要	5



## パルシステムの 事業

宅配・共済	6
福祉	8



## 「食」の取り組み

① 安全な「食」を求めて	10
② 商品の価値を伝える	11
③ 食料自給率の向上を目指して	12
産地訪問レポート 富良野青果センター	13



## 「環境」の取り組み

① 地球温暖化を防ぐために	14
② 3Rとプラスチック問題	15
③ 身近な自然を守る	15
④ 再生可能エネルギーを広げる	16
⑤ 暮らしの視点で環境を学ぶ	16



## 「人」の取り組み

① 地域とつながる	17
② 平和な暮らしを守るために	19
③ 被災地の復興を支援する	20
広島・長崎 平和スタディツアー	21



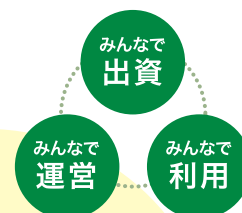
## 働く環境づくり・ 人材育成

働く環境づくり・人材育成	22
リスクマネジメント	23



## 生協とは？

生活協同組合(以下、生協)は、組合員の生活の文化的・経済的改善向上をはかることを目的に設立された組織です。組合員自らが出資し、自分たちの暮らし全般を向上するためにそれぞれの思いを寄せ合って決めた方針に基づく商品・サービスを利用します。組合員一人ひとりが、生協組織の「主体」なのです。



## ＼より明るい未来をめざして／

2022年度、私たちパルシステム東京は理念のもと、「暮らしを支える事業」と「社会づくりに向けた活動」を継続してきました。本冊子『TSUNAGU』をご覧いただいている皆さまには、多くの励ましと応援をいただきました。心より感謝申し上げます。

ロシアのウクライナ侵攻をはじめとする平和と安全のあり方、異常気象、物価高騰などの社会課題は、世界全体の課題で解決には時間がかかります。そして、いのちを軽視する風潮、経済格差の拡大などの影響は、私たちの身近な地域に広がり、暮らしを脅かしています。また、私たちの食を支え地域をつくっている産地の後継者不足など、農業の課題も深刻です。

「それでもできることはある！」

私たちはそう考えます。大事なことはあきらめないこと、そして仲間(=pal)をつくること。一人ひとりがつながり、それぞれの視点で未来を見つめ動く、それが未来をつくる。これまでも私たちは石けんなどの環境運動や産直運動で、仲間をつくり、運動を広げて社会を変えてきました。

2023年度は、パルシステムのアクションテーマ「もっといい明日へ 超えてく」が2年目を迎えます。多様な人々が暮らしのなかで、「食」や「平和」「環境」「地域活動」など何らかのアクションを起こしてみることを「超えてく」として呼びかけています。小さくても多様な力がたくさん集まり、新しい地平をひらくことを思い描いているのです。こののびやかなアクションが運動として根付く一年になることを願い、発行のあいさつとさせていただきます。

生活協同組合  
パルシステム東京

理事長 松野 玲子



◆ パルシステム東京の理念

# 「食べもの」「地球環境」

「人」を大切にした

「社会」をつくります

1

食べものの安全性にこだわり、生活者のくらしと健康を守ります



2

日本の食料自給力を強めるため、生産者とともに産直運動を発展させます



3

安全・品質・価格・産直・環境面でもっと優れた「商品」をつくります



4

女性の社会参加を応援します



5

平和、地球環境、福祉、たすけあいの活動を広げ、地域社会に貢献していきます



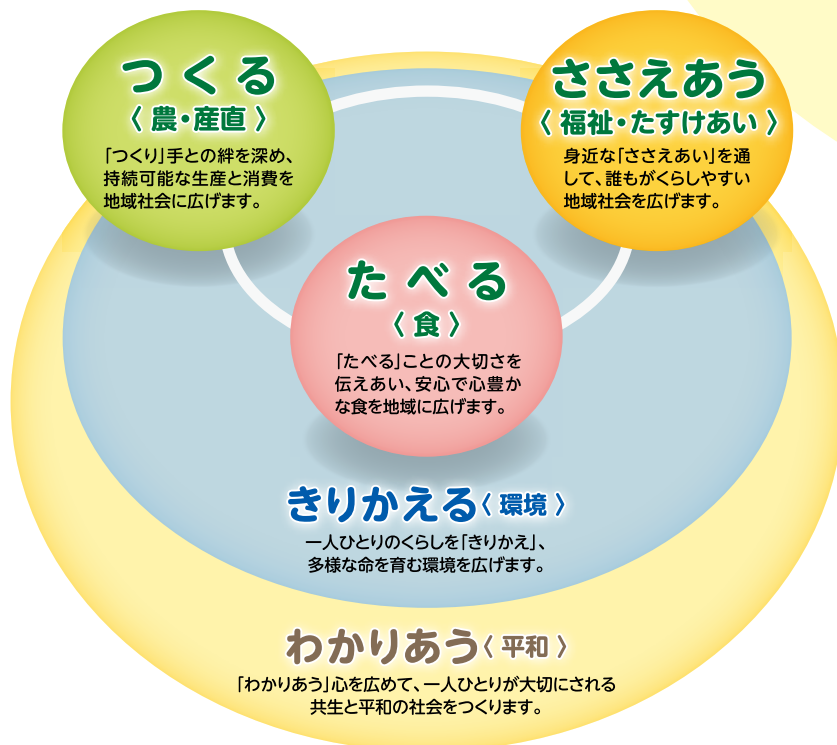


# ◆ パルシステム東京2030ビジョン

「たべる」「つくる」「ささえあう」ともにいきる地域づくり

一人ひとりの行動で、  
持続可能な地域社会をつくり、  
世界の平和につなげます

わたしたちが  
めざすもの



## 実現するための取り組み

### 社会活動

- 社会的課題の解決に向けて、NPOをはじめとした他団体や協同組合間で連携した取り組みをすすめます。
- 笑顔ひろげる身近な地域づくりに向けて、事業所を拠点に、行政・地域団体と連携した取り組みをすすめます。

### 事業と活動

- 人生100年時代を見据えた学びや活動の機会を広げていきます。
- 一人ひとりの多様なくらしに対応した事業の改善・開発をすすめます。

### 人と組織

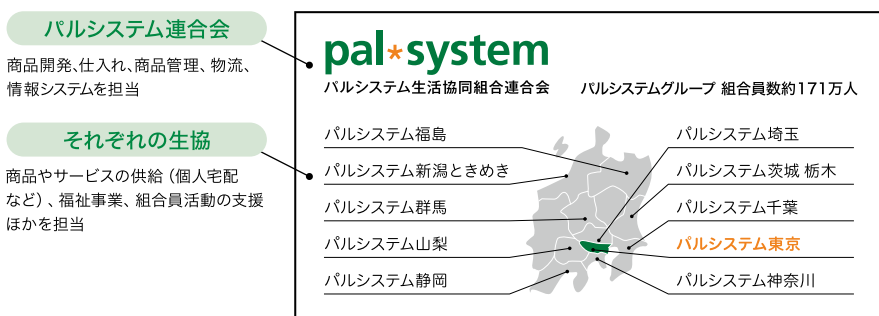
- 生協運動の活性化と継承に向けて、組合員参加の入り口を広げるとともに、担い手づくりをすすめます。
- パルシステムを担う人材の多様な働き方の創出や雇用環境の整備をすすめます。

## ◆ パルシステムグループ

商品や環境政策などについて考え方を共有している10生協※が、パルシステムグループを構成しています。

パルシステム東京はこのグループの中で、総事業高と組合員数ともに最大規模の生協です。

※利用事業会員を含めると13生協



## ◆ 組織概要

名称：生活協同組合パルシステム東京  
 設立：1970年4月1日  
 役員：理事長 松野 玲子  
 専務理事 杉原 学  
 業務執行理事 市嶋 淳一  
 業務執行理事 菊地 剛  
 業務執行理事 杉村 剛是

事業エリア：東京都全域（島嶼を除く）  
 本部所在地 東京都新宿区  
 配送センター 17カ所  
 福祉事業所 13カ所  
 保育園 2カ所

職員数：1,793人  
 組合員数：52万6,461人  
 総事業高：864億8,382万円  
 出資金：217億1,031万円  
 ※数値は2023年3月末時点

## パルシステムの事業

# 宅配・共済



毎週同じ曜日・時間帯に配達担当が訪問する宅配事業の特徴を活かし、自治体がすすめる見守り活動に協力。共済事業では、剰余金の一部を活用し、子育て支援や福祉助け合い活動など助成という形でサポートしています。

### 産地との架け橋「商品担当」

産地、センター、組合員の3者をつなげるための役割を担うことを目的とした「商品担当」の取り組み。2017年度からスタートし、今期で7期目を迎えます。

商品に込められた生産者の思いを実際に産地へ行って学び、配送センターの仲間や組合員へ伝えることに尽力します。実体験を伝えることでより商品や産地への理解を深め、パルシステム商品の良さを内外に広げることが目標にしています。



### 第1回パルシステムコンテスト

さらなる組合員満足度向上を目指し、17センターから配達担当を1名ずつ選出し審査を行う、「第1回パルシステムコンテスト」を開催しました。実演動画を後日共有することによりスキルの向上や、モチベーション向上の機会を創造しました。メディア各社から取材依頼もあり、組織アピール効果も生み出すことができました。



#### 配達担当

## 4 CONJUNK

#### 1 私たち配達担当が窓口となります

- パルシステムで統一しているあいさつをします(こんにちは、パルシステムの〇〇です)
- お問合せには誠実に対応します(分からない場合はお調べしてお答えします)

#### 2 商品を大切にお届けします

- お届けする商品は丁寧に取り扱います
- 大雨や強風などの際は商品の置き方に配慮します

#### 3 組合員のみなさんとの約束を守ります

- 約束事は記録し、配達時に確認します(置き場所、注文用紙回収場所、チャイムなど)
- 注文用紙以外の回収物がある場合は、お預かり書やメモなどをお渡しします
- 配達担当が変わっても約束を守ってお届けできるようにします

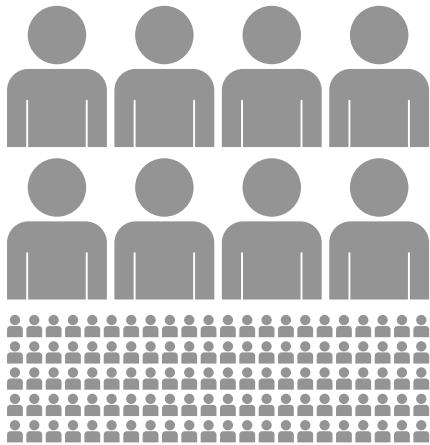
#### 4 地域の配達担当として心配りを大事にします

- 地域のみなさんにご迷惑をおかけしないよう注意します(トラックの駐車場所や騒音など)
- 地域のみなさんの安心・安全にも気を配ります

# \ 数字でみるパルシステム東京2022 /

暮らしとかかわる宅配・共済が、ぱっと見てすぐ分かる！

新しく組合員となった人



CO・OP共済の給付件数



48,452件

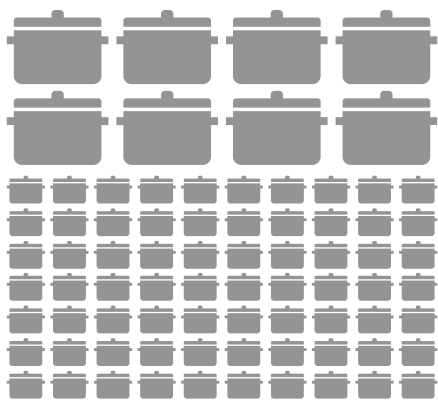
CO・OP共済(たすけあい、あいぶらす、ずっとあい)  
2023年3月20日時点の数値

「インターネットサービス」登録率



webサイトやスマートフォンアプリで注文  
配達状況確認やクチコミ機能などもっと便利に

「お料理セット」の年間売り上げ個数



3,511,739セット

一番人気は「産直豚肉のチンジャオロースセット」

配送しているトラック台数



※数値は2023年3月末時点



## パルシステムの事業

# 福祉

子どもたちと高齢者が同じ場所でもとに「共生ケア」を少しずつ再開。温かな笑顔があふれました。

### 福祉事業所「陽だまり」

日本生協連では、ならコープを母体に設立された社会福祉法人協同福祉会が長年の実践で構築してきた「あすなら10の基本ケア」に学び、生協福祉事業における介護の

標準化サービスとして、自立支援のための「生協10の基本ケア」に取り組んでいます。パルシステム東京もチャレンジ宣言を行い、これのさらなる浸透・スキルアップを目的に独自の取り組みとして6段階の階層に分け、個々のスキルに合わせた実践的な研修を実施しています。

### 生協10の基本ケア

- 1 換気をする
- 2 床に足をつけて座る
- 3 トイレに座る
- 4 あたためい食事をする
- 5 家庭浴に入る
- 6 座って会話をする
- 7 町内におでかけをする
- 8 夢中になれることをする
- 9 ケア会議をする
- 10 ターミナルケアをする



動画はこちら



実践研修の様子

### スキルアップイメージ



## 認証保育所「ぱる★キッズ」

都内2カ所で東京都認証保育所「ぱる★キッズ」を運営。保育理念「たべる・食育」「ふれあう・木育」「あそぶ・遊育」のもと、健やかなからだと豊かな心を育てています。

### ●ぱる★キッズごはん

栄養士がつくる、パルシステム商品をふんだんに使った給食レシピの配信を開始しました。季節ごとの旬の食材を取り入れた手軽につくれる献立を、栄養士の手書きレシピとともに毎月紹介。ぱる★キッズの「給食だより」と連動した季節の行事や、旬の食材の扱い方などもあわせて記載しています。



味噌クッキー



味噌クッキーレシピ



ぱる★キッズごはんをTwitterで発信



## 共生ケア

コロナ禍で自粛してきた、福祉事業所「陽だまり」とぱる★キッズの交流について、感染状況を見ながら少しずつ再開はじめています。2022年度は一定の距離を取って同じ空間で行事を楽しむほか、併設施設内を相互にオンラインでつなぐ交流も実施。子どもたち、ご利用者が画面に向かって手を振り合う等、新たな共生ケアの形となりました。



## 親子企画

ぱる★キッズでは、保育理念の1つ「木育」の一環として、日頃から自然遊びを楽しむ活動を取り入れるとともに、外部講師を招いた自然遊び行事（ぱる★キッズ探険隊）を年間通して実施しています。

2022年度は新宿御苑にて「親子行事」として開催。童心に戻って虫探しや落ち葉遊びに夢中になる保護者の姿もたくさん見られ、親子で自然遊びを楽しみながら、ぱる★キッズの保育理念や活動に理解が深まる行事となりました。



動画はこちら





# 「食」の取り組み ✨

食べることは、生きること。  
本物の味わいと安心を届けたい。

## 1

## 安全な「食」を求めて



パルシステムでは、持続可能な生産や安全・安心な商品づくりを目指し、生産者やメーカーとともに、農薬・化学肥料の削減や、食品添加物の削減に取り組んでいます。

### 農薬削減の取り組み ✨

#### コア・フードとエコ・チャレンジ

食と農をつないで豊かな地域社会をつくることを目指して産地とともに「環境保全型農業」をすすめています。

#### 環境保全型農業って？

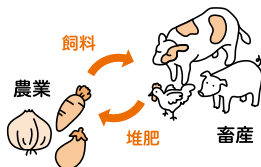
##### 農薬・化学肥料削減

できるだけ化学合成農薬・化学肥料を減らします。



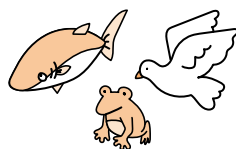
##### 資源循環型農業

堆肥、有機質肥料を使うなど、地域の資源循環をはかります。



##### 生物多様性

自然環境が保たれ、多様な生きものを育みます。



環境保全型農業の一環として、農薬・化学肥料を減らすため、「農薬削減プログラム」を策定し、独自の基準を定めています。その中で生まれたのが「コア・フード」と「エコ・チャレンジ」です。

	コア・フード 有機JAS認証 <sup>®</sup> を取得 ※化学合成農薬、化学肥料を使わない (定められた使用可能資材を除く)	エコ・チャレンジ エコチャレンジ
化学合成農薬	不使用	各都道府県の慣行栽培基準の1/2以下
化学肥料	不使用	各都道府県の慣行栽培基準の1/2以下
その他	環境保全や資源循環型の生産に配慮したパルシステムのトップブランド	パルシステムの削減目標 農薬不使用 青果は除草剤、土壌くん蒸剤不使用

オンラインイベントなどを通じて、コア・フード、エコ・チャレンジの魅力を伝える取り組みをすすめています。



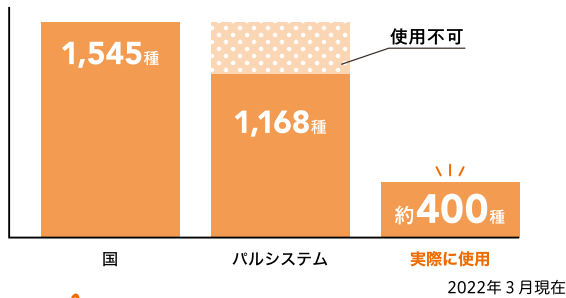
PLAのオンライン企画「有機でいどる、わたしの台所」

## パルシステムの商品づくり

unnecessary添加物は使いません! (食品添加物の削減)

パルシステムでは、国よりも厳しい「食品添加物の独自基準」を設けています。国が認可した添加物約1,500種のうち約1/4を使用不可に。さらに、独自基準内であっても、安易に添加物を使用しないようにしているため、実際の使用数は400種ほど。素材本来の良さを生かした商品づくりをすすめています。

### パルシステムと国の添加物総数比例



### Product

#### クリーミーフローズンヨーグルト

牛乳60%、クリーム6.8%使用し、クリーミーな味わいに! 香料、増粘安定剤などの添加物は不使用。



#### 産直小麦の冷凍平打ちうどん

北海道の産直小麦を使用! 加工でんぷんは使わず、小麦粉、塩、水のみでシンプルに仕上げました!

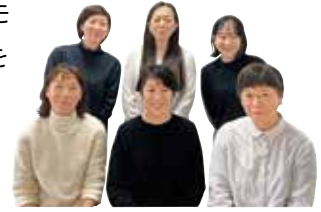


## 組合員による開発協力商品

メーカー、パルシステム、組合員が協力して、組合員の「あったらいいな」を形にする商品開発チーム。2022年度は6名の組合員が参加し、「大人向け主食パン」をテーマに活動。「こだわり酵母アーモンドと黒ごまの豆乳パン」を新規開発しました。



2023年6月発売



2022年度商品開発チーム「オトナPANだ」

国産小麦に天然酵母、砂糖は「花見糖」、塩は「海はいのち」を使い原材料にこだわりました。水を使わず、パルシステムの「産直大豆無調整豆乳」だけで練り込んだ生地はもっちり食感! アーモンドと黒ごまも練り込みました。



## 食の安全を求める取り組み

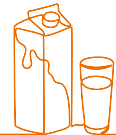
2023年3月に「ゲノム編集技術応用食品に対する方針」を策定。基本姿勢として「ゲノム編集食品に反対の姿勢を示す」ことを表明しました。また、情報誌「食べものナビゲーター」の子ども版として「食ナビkids実験教室」の発行や、オンライン企画「夏休み親子科学実験教室」を開催するなど、子どもたちが食の安全に関心をもつ機会をつくりました。



商品検査センターのオンライン企画「夏休み親子科学実験教室」

# 2

## 商品の価値を伝える



パルシステムは、商品を選ぶことで社会を変える取り組みを実践しています。商品の価値を広めるため、学習会や産地見学などを開催し、組合員と生産者やメーカーをつないでいます。

## 組合員講師やメーカーから商品学ぶ活動

### 食育リーダー・PLA

食育活動や商品への理解を広げるため、組合員講師「食育リーダー」「PLA (パルシステム・ライフアシスタント)」による食育講座や学習会を開催しています。2022年度は、子どもからシニア層まで幅広い年代の組合員が参加し、食育や商品の魅力を伝える取り組みが広がりました。



食育リーダーのオンライン食育講座「親子企画! フレッシュバター! を楽しくつくっちゃおう!」



動画はこちら



PLAのオンライン企画「アルカリウォッシュ(セスキ炭酸ソーダ)を使いこなそう(初級編)!!」



動画はこちら



商品を通じたサステナブル・アクション  
「もっといい明日へ 超えてく」

2022年度からはじまったアクション「もっといい明日へ超えてく」は、一人ひとりが暮らしの中  
でできることを、世界を動かすアクションに広げていく取り組みです。

もっといい明日へ  
**超えてく**

### 3つの行動テーマ

- 1 自分らしく選ぼう、明日のために
- 2 出会いに行こう、物語を見つけよう
- 3 声にしていこう、世界を変えていこう



生産者・メーカーから商品学ぶ学習会も、このアクションのひとつ！商品の「向こう側」にいる作り手の物語を理



解し、私たち一人ひとりが「自分らしく選ぶ」ことが、人と環境にやさしい未来へ「超えてく」ことにつながります。



作り手と組合員をオンラインでつなぐ企画「おうちde作り手と会おう！」  
(上)「パルシステムのパン屋さん、国産小麦への挑戦！」  
(下)「産直パジルが香り立つ絶品「ジェノベーゼソース」のひみつ」

# 3

## 食料自給率の向上を目指して



世界最大の農産物純輸入国といわれる日本。食料自給率は先進国の中で最低水準です。パルシステムの産直は、環境保全・資源循環を基本におき、農と食をつないで、豊かな地域社会をつくることを目的としています。

### 米づくりの体験実習 「お米の出前授業」

東京都の小学5年生を主な対象として、小学校や幼稚園・保育園、地域コミュニティなどで行っています。食の多様化が進む中、日本人の主食であるお米の大切さや、作り手の取り組みを体験型で実施。お米への興味関心、生産者への親近感を通して、「お米を食べよう！もう一杯!!」と食料自給率の向上に取り組んでいます。

### Data

2022年度 出前授業を受講した児童・園児数

**168**校(園・館) ..... **12,890**人

うち小学5年生12,797人  
都内小学5年生の12.5%



授業の様子



### 産地交流

生産者“作り手”と組合員“消費者”をつなぐ産地交流。子どもから大人まで五感で感じられる交流の場となっています。「顔の見える関係」をつくり、単なる商品のやり取りだけではなく、「つくる人」と「食べる人」同志がお互いに理解し合い、さまざまなつながりを育む取り組みです。



産地交流(秋田南部圏)

### 公開確認会

公開確認会は、組合員が農畜産物の栽培方法や安全性などを直接確認するとともに、生産者と消費者が理解し合い、課題や情報を共有して次につなげていくパルシステム独自の取り組みです。2022年度は、「まできちキン生産者連絡協議会」にてオンラインで開催。普段、関係者以外は立ち入ることができない鶏舎からの中継など、オンラインならではの特性を活かした確認会となりました。



公開確認会の様子



動画はこちら

食べものを選ぶ基準をアップデート!

# 富良野青果センター

2022年8月27日～28日、パルシステム東京職員が富良野青果センターの広大な農園や倉庫を訪問。学習会や交流会を通じ、産地の努力や苦労を学びました。また、スイカを出荷している天間農産本舗へも訪問しました。

●●●●●●●●●●

**富良野青果センター**

パルシステムと40年以上取引のあるセンターです

**開催日**  
2022年8月27日(土)～28日(日)

**プログラム**

- 産地紹介・質疑応答
- 天間農産本舗訪問
- 選果場見学
- 富良野の野菜の試食・交流会

## ● 先端技術の魅力ある農業

富良野市は年々人口が減っているそうですが、富良野青果センターは、生産者育成に力を入れているため、若い職員さんが多いことがとても印象的でした。経験の浅い従事者でも品質を落とさず生産できる「スマート農業」やドローンを駆使した管理など、魅力ある農業の導入で若い方々の就農を積極的に行っていました。

貴重な体験をありがとうございました!



## ● 鮮度が良いてどうということ?

収穫された青果は、鮮度を保つため冷蔵庫で1日程度寝かせて仮眠状態をつくり青果の熱を下げてから、選別・出荷されていました。これは青果自体が発する熱でどんどん劣化していくことを防ぐためだそうです。採れた野菜だけが鮮度がよいというわけではないことを知り、とても勉強になりました。

産地の皆さんの想い伝えていきます!



## ● フードロス問題は出荷前から

パルシステムは厳しい基準で安全安心な野菜をお届けしていますが、ちょっと形や色が悪いという「だけ」の理由で廃棄されてしまう農作物の多さに衝撃を受けました。「見た目」ではなく、安全性や味で選べる働きかけをしていくことが、パルシステム職員の責任だと実感。この「もったいない」野菜たちを活用する方法を考えたいと思いました!

とうもろこし甘くて美味しかった!



## ● SDGsの取り組みを一步前へ

野菜の検品見学ではニンジンの洗浄で大量に使う水は井戸水を活用するなど、環境への配慮がありました。「見た目」の問題で弾かれてしまう不揃いな野菜も出荷されるようになれば、日本の食糧自給率や

どうやって関心をもってもらおうか考えたい!



SDGsの取り組みをもっと改善できる、という話を聞き、環境への取り組みに社会的評価のあるパルシステムだからこそ、しっかり受け止めて発信していきたいと思いました。

感動を手書きのレポートで提出しました!



## ● さらに知識を深めたい

標高差により気温の異なる3つの圃場で、異なる野菜のリレー栽培を行う様子を見学しました。雨不足の時は水を撒けば良いのでは?と想过いましたが、天気と矛盾した水分を与えることで作物が悪くなってしまうことを聞き、環境問題に関心を持っていた自分の知識がまだまだ浅いことを実感。これからはさらに意識を高めて、自分にできることを実行していきたいです。

じゃがいもの食べ比べ美味しかったです!



## ● 「働く人のつながり」は学び

富良野青果センターでは、農作業のない冬場でも従業員の仕事をなくさないために加工製品を製造するなど、人材保護の面でも創意工夫していました。仲間とともに助け合いながら支え合っている様子にとっても感動しました。農作物のことだけではなく、人のつながりまで学ばせていただいた2日間でした。

生産者の話を聞いて心が熱くなりました





# 「環境」の取り組み

未来の社会のために、  
今の暮らしの中で、できることを。



## 1

## 地球温暖化を防ぐために



事業所におけるCO<sub>2</sub>排出量46%削減を目指し、事業と組合員の暮らしの両輪で省エネルギーを推進します。事業所での節電や省エネ・高効率設備導入に取り組むとともに、気候変動や省エネ学習会、組合員家庭の省エネ診断を実施しています。

### 気候変動学習会

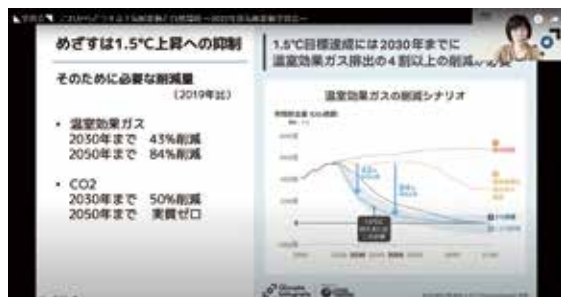
気候変動問題の基本や生物多様性との関連、自然を活かした対策(緩和策・適応策)などを学び、これから自分たちにできることは何かを考えるために学習会を行いました。

前半は一般社団法人Climate Integrate代表理事平田仁子氏の講演、後半は平田氏と国立環境研究所気候変動適応センター西廣淳氏との対談・質疑応答を行いました。参加者からは深刻な気候変動問題に「お二人

が未来に希望をもって取り組んでいる様子に勇気づけられた」という声をたくさんいただきました。



動画はこちら



# 2

## 3Rとプラスチック問題



3R、ペーパーレス化、容器包装と物流資材のプラスチック削減に注力し、環境負荷を可能な限り減らします。配送センターでのリユース・リサイクル品の異物混入削減や組合員への回収周知に取り組むとともに、3Rやプラスチック問題の学習会などを実施しています。

### 洗びん工場オンライン見学会

株式会社トベ商事の戸部昇氏がリユースびんの歴史と現在のプラスチック問題とも関係する3R推進について講演。普段見ることができない洗びん工場を動画で見学し、パルスシステムに出すリユースびんをきっかけに、循環型社会の重要性について学びました。



リユースびんの  
洗浄工場へ  
潜入！



# 3

## 身近な自然を守る



都内の緑地や里山、産直産地などで生物多様性保全と森林保全に取り組めます。いなぎめぐみの里山での森林保全、生き物や自然の観察、在来種保全に関する学習会や野外企画を実施しています。

### 都心の生き物観察会

東京大学総合研究博物館研究事業協力者の須田真一氏を講師に迎え、東大駒場リサーチキャンパスで「生き物観察会」を行いました。キャンパス内の広場で捕まえた昆虫を中心に、須田氏が解説。親子で楽しく学び知識を深めました。



### いなぎめぐみの里山 間伐材を使った竹工作体験

いなぎめぐみの里山で間伐した竹を使った工作体験。竹林の中で竹の間伐と有効利用する必要性を学びました。重さを実感しながら運び出した竹を使って、竹皿、コップ、竹ぼっくりや竹笛などの工作をしました。



いなぎめぐみの  
里山とは？

### 高尾山自然観察会

花や樹木などの話を聞きながら高尾山を登る自然観察会。経験豊富なガイドから普段通り過ぎてしまうような植物や樹木について教えてもらったことで、四季の変化や自然環境保護について楽しみながら考えるきっかけになりました。



# 4

## 再生可能エネルギーを広げる



配送センター15カ所、福祉事業所7カ所で再生可能エネルギーを中心とした「パルシステムでんき」を利用、一部センターでは太陽光発電を行っています。再生可能エネルギーや脱原発に関する学習会を実施し、組合員とともに再生可能エネルギーを広げます。

### 私たちの身近にある原発を学ぶ

脱原発ネットワーク茨城共同代表の小川仙月氏を講師に迎え、東海第二原発の例を中心に、放

射能の人体への危険性、原発の仕組みや過去の事故事例、避難計画(立地)や老朽化の問題点、原発のゴミ問題・核燃料サイクルについてなどをお話いただきました。



### アルプス処理水海洋放出に関する学習会

コープふくしまふくしま県本部長穴戸義広氏を講師に迎え、オンライン学習会を開催しました。汚染水の現状及び政府の海洋放出計画、他の処理方法について解説いただきました。



動画はこちら



# 5

## くらしの視点で環境を学ぶ



くらしの視点で身近な環境問題に取り組み、石けん運動など組合員参加の環境活動を広げます。石けんの良さを広めるため、パルシステム東京独自チラシの配付や参加型も含めた学習会を実施しています。

### わくわく石けん体験

「石けんに親しんで使い続けてほしい」と考え企画。石けんの講義と実験の後にアロマ石けんを作り、パルシステムで扱うさまざまな石けんの香りや使用感を試してもらい、参加者はお気に入りを小びんに詰めて持ち帰りました。



国内初の紙パック浴用商品『地球の未来にまじめなボディソープ』



### 石けん洗濯術学習会

白栄舎クリーニング代表の茂木孝夫氏に、「スニーカー洗いと洋服のしみ抜き」を教わりました。自宅にある洗いたい衣類やスニーカーを手元に用意。茂木氏がオンラインの画面上で参加者に直接アドバイス等、やりとりをしながら洗いや浸けこみを実践しました。

活動レポート





# 「人」の取り組み ✨

組合員一人ひとりの思いが  
地域の笑顔につながる。



## 1

## 地域とつながる



地域のつながりが薄れる中で、組合員活動は貴重な場となっています。  
人と人がつながり、ネットワークが生まれ、地域の活性化につながることを期待し、  
パルシステム東京は組合員の活動をさまざまな方法で支援しています。  
また、継続的な市民団体とのつながりから、新しい可能性が生まれています。

### 地域で広がる活動 ✨

組合員同士が学び合う「委員会活動」を中心に、さまざまな活動をしています。食の安全や環境、平和や福祉をテーマにしたものや、くらしを豊かにする文化的活動など、身近な地域やテーマごとにつながりを持っています。

### 「福祉・たすけあい助成金」の活用 ✨

パルシステム共済生活協同組合連合会では、保障事業で生まれた剰余の一部を、よりよい地域社会の構築に向けて活用しています。主には組合員が自主的に行う子育て支援や福祉たすけあい活動、ライフプランニング活動、健康維持活動などへの助成金です。  
2022年度も地域の担い手づくりや居場所づくり、がんに関する啓発アクション、子ども食堂への調味料支援などの助成金を活用した取り組みを行いました。

#### Data

2023年3月末時点

#### パルシステム東京の委員会活動

委員会数 ..... **154**委員会  
2022年度企画数 ..... **591**企画  
参加人数 ..... のべ**7,188**人



ボランティアのきっかけ作り企画



## 市民活動助成基金

安心してらせる社会づくりを目指し、活動する「草の根の市民団体」をパルシステム東京の組合員が商品やサービスを利用することで生じる剰余金をもとに、資金面で支援しています。助成終了後の団体間連携などもすすめ、顕在化していない社会課題について、組合員や社会の認知を広げる取り組みにもつなげています。

### Data

#### 市民活動助成基金 実績

2022年度…………… 12団体 約491万円

1998～2022年度(累計) …… のべ295団体  
約1億1,570万円

2022年度「市民活動助成基金」  
助成団体はパルシステム東京  
ホームページで公開しています。

HPはこちらから▶



## 「ふやす・ひろげる企画」を開催

組織参加の担い手となる委員会・委員を増やすためエリア運営会議を中心に「ふやす・ひろげる企画」を開催し、委員の増員につながりました。



## 地域福祉推進の取り組み

小さな子どもから高齢者まで誰もが安心して、自分らしい暮らしを続けられるように、地域ごとの福祉課題に取り組む「地域福祉」を推進しています。

### パルシステム東京の施設活用

地域の保育園との連携や、生活困窮者の自立支援の取り組み、委員会交流企画などでパルシステム東京の施設(会議室、調理室、いなぎめぐみの里山)を活用しています。また、行政と連携した高齢者の地域デイサービス、学習支援、障がいのある子どもを持つ家族のレスパイトケアなど、地域の活動を応援する取り組みを継続しています。



足立福祉棟交流ルームを活用したフードパントリー

### フードバンク・子ども食堂などの支援

社会福祉協議会やフードバンクといった地域ネットワークを通じ、支援を必要とする施設(子ども食堂、個別家庭など)へ、調達で発生する予備青果の提供をしたほか、生活に困窮する方への緊急支援策として、フードバンク等の団体から要望の高い「お米」28tを提供しました。





# 2

## 平和なくらしを守るために



平和で公正な社会の実現に向けた「パルシステム東京平和政策」に基づいて、「平和な共生の世界を目指します」「一人ひとりが尊重され、いのちを大切にできる社会づくりをすすめます」「次世代が希望をもてる地域をつくります」を基本に、組合員とともに平和活動を推進しています。

### 国際連帯 ✨

#### 平和カンパ

世界の厳しい状況にいる子どもたちのために、組合員による寄付活動を毎年実施。支援しているNGO団体を通じて、カンパ金かどのような活動に役立っているか、オンラインで公開しています。

#### Data

#### 平和カンパ 実績

2022年度……………7団体 **737万2,672円**  
1996～2022年度(累計)…約**1億9,536万円**



©チェルノブイリ子ども基金

#### 書き損じハガキ等の回収キャンペーン

使用済み切手などの家庭の不要品を寄付して換金し、世界のめぐまれない子どもたちの支援につなげる活動。NGO団体と協力して、寄付された物品の仕分けボランティアも行っています。

#### Data

#### 回収キャンペーン 実績

2022年度……………3団体 **1,610万6,204円**



©シャプラニール=市民による海外協力の会

### 平和について学ぶ活動 ✨

#### 「マイスマールランド」上映会&トークライブ

日本にいるクルド人難民を題材にした映画「マイスマールランド」の上映会と、監督たちのトークライブを開催しました。在日外国人が感じる生きづらさや、難民申請をしている人々の苦悩が語られました。



©2022「マイスマールランド」製作委員会

#### 憲法学習会

私たちの生活や、平和、人権と憲法の関係について学び考える憲法学習会。2022年度は「憲法とは何か」と、「子どもの権利」をテーマに2回開催しました。



伊久間勇星弁護士



木村草太氏(右上) 荻上チキ氏(下)

#### 広島・長崎平和スタディツアー(役職員研修)

原爆投下の実態と戦争の歴史を学ぶため、広島・長崎へ毎年訪問しています。詳しくはp.21をご覧ください。

# 3

## 被災地の復興を支援する



「3.11を忘れない」を基本視점에、被災地の現状を学ぶスタディツアーや支援カンパ、子どもの甲状腺検診に取り組むほか、東京でのシンポジウムを継続的に実施しています。また、日本各地で発生する災害による被災者への緊急支援募金やパルシステムグループ連帯での支援活動も行っています。

### 被災地を支援する ✨

#### 東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金

東京をはじめとする各地域のパルシステムが、それぞれ福島原発事故の被災者を支援する団体を推薦し、パルシステムグループ全体で募金活動を行っています。

#### Data

2022年度助成実績……………17団体に  
**1,040万8,600円**  
 (パルシステムグループ全体)  
 パルシステム東京推薦分 ……7団体 **360万円**

#### 震災復興支援基金「パル未来花基金」

パルシステム東京には、自ら被災者の支援をはじめた組合員もいます。そのような組合員主体の復興支援活動を支援する基金です。

#### Data

2022年度 ……………9団体 **257万3,940円**  
 2014～2022年度(累計) ……のべ**3,124万2,262円**



©星空キッズツアー

#### 「MINAMATA—ミナマター」上映会&トークライブ

水俣病を題材にした米フォトジャーナリストの映画を上映。水俣病と福島の原発事故とで共通する、分断される被災地や、被害者の苦悩、補償の在り方などを学びました。



伴 英幸氏、アイリーン・美緒子・スミス氏、白石 草氏

### 被災地のいまを知る ✨

#### 福島スタディツアー

福島を訪れ、復興や原発被害の「今」を知るツアー。福島第一原発のある大熊町で、今も家族の遺骨を探す被災者から、原発に頼る生活や、復興の在り方などについて話を聞きました。



大熊未来塾 塾長 木村紀夫氏



活動レポート /



津波被害の遺構施設「請戸小学校」

#### 3.11week～被災の記憶と今を知る～

毎年行っている「3.11を忘れない」がテーマの企画として、復興支援特設サイトを開設しました。復興関連イベントや映画、復興支援商品の紹介や、東日本大震災にまつわるオムニバス映画を配信し、さまざまな視点から震災を見つめる機会としました。



映画「10年後のまなざし」上映&監督トーク収録の様子



広島・長崎

核兵器のない  
みらいを考える

# 平和スタディツアー

平和活動の一環として行われた「広島・長崎平和スタディツアー（役職員研修）」。  
被爆地を訪問し、平和活動の「これまで」と「これから」取材しました！

**広島スタディツアー** 県内で平和活動に取り組む方々からお話を伺いました。

- 開催日** 2022年8月4日(木)～6日(土)
- 訪問地** ●爆心地 ●比治山陸軍墓地 ●旧広島陸軍被服支廠倉庫 ●広島平和記念資料館  
●平和記念式典への参加 ほか
- 取材先** ●カクワカ広島(安彦恵里香さんほか) ●被爆の語り部の方

広島スタディ  
ツアー動画



## スタディツアーで感じたこと

### ● 現在も起こりうる危機

広島への原爆投下により、放射能の被害でその後何十年も苦しみ続ける被爆者の方々の思いを知り、核実験が今もなお繰り返されていることや原子力発電所が存在している現状を考えさせられました。また、職業や年齢の違う広島在住のメンバーたちが県の国会議員に核政策についての考えを聞いたりSNSで発信したりしている平和活動に触れ、自分の今後の行動を選択する際の糧となる知識を得ることができました。



### ● 繰り返してはいけない

平和記念資料館で目を背けなくなるような写真や遺品の展示を見て、77年前の8月6日の広島には、今の私たちと同じような生活があったはずだと、胸が締め付けられる思いでした。大切な人や思い出を一瞬で失い、その後何年も何十年も苦しみ続ける人々を二度と生み出してはいけないと、改めて強く感じました。核兵器廃絶に対し、一人ひとりが興味を持つことから平和活動をはじめてもらいたいと思います。



「人」の取り組み

**長崎スタディツアー** 長崎の歴史や、原爆の被害について学びました。

- 開催日** 2022年8月7日(日)～9日(火)
- 訪問地** ●長崎原爆資料館 ●長崎大学 ●大浦天主堂 ●平和祈念式典への参加 ほか
- 取材先** ●ナガサキ・ユース代表団

長崎スタディ  
ツアー動画



## スタディツアーで感じたこと

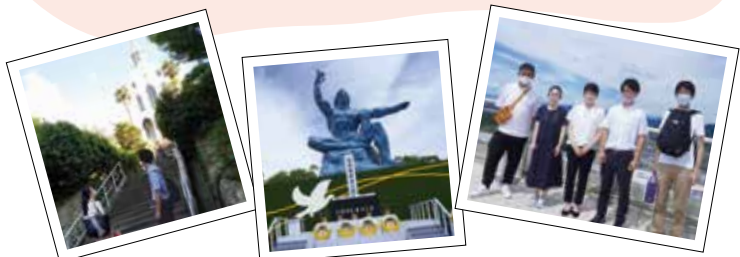
### ● 私たちにできることは

長崎大学を訪問し、ナガサキ・ユース代表団の学生さんたちの活動について、お話を聞きました。同じ世代の人と核廃絶や戦争について話し合うことの難しさなどの課題を伺い、平和活動に取り組み、自分の将来の目標や考えをしっかりと持っている学生の方々から多くを学びました。自分が平和にいらしていることは当たり前ではないという認識が生まれ、ツアー参加後は核をめぐる世界の動向に興味を持つようになりました。若い人たちも核や戦争について考えることを難しいと思わずに、音楽やアニメなど身近な切り口から「知ること」をはじめてみてほしいです。



### ● 伝えることから平和活動をはじめたい

長崎の原爆被害についてもっと知識を得たいと思いこのツアーに参加しました。原爆資料館の見学では、沸騰して泡立った瓦やドロドロに溶けたガラスなどから原爆被害の凄まじさを目の当たりにし、改めて原爆の恐ろしさを痛感しました。平和公園での式典に参加し、参加者全員で黙とうを行った際、なぜか涙があふれてきました。自分が見聞きしたことを一人でも多くの人に伝えることから、核廃絶に向けた平和活動をはじめたいと思っています。



# 働く環境づくり・人材育成

働きやすい職場であることは、よりよい社会をつくる第一歩です。パルシステム東京では、働き方改革や教育・研修、障がい者雇用などさまざまな環境の整備や人材育成に積極的に取り組んでいます。

## 働きやすい職場づくり

「働き方改革関連法」施行といった社会的要請に応えること、組織としても働きやすい職場を目指し、残業抑制に取り組むとともに、有休5日取得義務化の促進においても大きく前進しました。また、男性職員の育休取得率の改善を目指して周知をした結果、2022年度に取得率100%となりました。



## 「くるみん」の取得・更新

「一般事業主行動計画」を策定し、少子化対策をはかる子育て支援など、一定の基準を満たした企業や法人が厚生労働省によって認定される「くるみんマーク」を取得しています。2020年度末にて第5期の計画期間が終了し、認定マークが更新されました。



「次世代育成支援対策推進法に関する一般事業主行動計画」及び「女性活躍推進法に関する一般事業主行動計画」は、パルシステム東京ホームページで公開しています

## 教育・研修プログラム

パルシステム東京の理念・ビジョンの浸透をはかり、日常業務に活かせるよう、例年さまざまなプログラムを行っています。新卒採用者は約1カ月半の研修期間を設け、生協に対する基礎知識やスキルを身につける内容に加え、協同の重要性を体感するプログラムを実施。同期同士互いに支え、刺激し合える関係性を築く時間となりました。経験者採用者は新人研修に加えてフォローアップ研修を対面で実施し、理解を深めました。

## 産地研修・パルカレッジ

2022年度新卒職員に対し新潟県阿賀野市(ささかみ)にて3年ぶりに産地研修を実施しました。これまで産地研修に行くことができなかった20年度、21年度新卒職員に対しても同産地にて研修を実施しました。



## ウッドスタート宣言

NPO法人「芸術と遊び創造協会」は、子どもをはじめとする全ての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送るための「木育」行動プランに取り組んでいます。パルシステム東京は同プランに賛同し、2015年より福利厚生の一環として、赤ちゃんが誕生した職員家庭へ、国内でつくられた「木のおもちゃ」を贈呈。「木のおもちゃ」をファーストイとしてお届けすることにより、木材を身近に触れる機会を提供し、豊かな子育て環境を応援しています。



## 障がい者雇用

2022年度は特別支援学校からの実習受け入れを再開し、4事業所にて実習を行いました。また、日本生活協同組合連合会が主催し、全国24の生協が参加した「障がい者雇用に関する交流会」でパルシステム東京の障がい者雇用の取り組みの報告を行いました。



就労支援機関との支援会議の様子

## 労働安全衛生の取り組み

安全で働きやすい職場環境をつくるため、各事業所で月1回の「安全衛生委員会」を開催。リスクアセスメントや4S（整理・整頓・清掃・清潔）、産業医による職場巡回などの実施により、健康管理と労働災害防止に努めています。

## メンタルヘルスに関する取り組み

職員のメンタルヘルスや健康についてのさまざまな相談に、産業カウンセラーと看護師資格を有する産業保健スタッフが対応。専門性を活かし、職員の心と体の健康管理を支えています。



チャットやTV電話を使い匿名で医師に相談できるサービス「first call」を導入



## リスクマネジメント

### 内部統制システムの推進

組合員と社会に信頼される健全な組織体制を整備するために、「内部統制システム基本方針（組織体制の整備と運用を効率的に行うために必要な基本方針）」（2009年12月制定、2021年3月改定）に基づき取り組んでいます。

#### ●内部統制システム基本方針の検討

毎年定期的に①機関設計の見直し②法改正③生協業界の動向④業務内容の大幅な変更⑤その他事項の項目にそって検討を行っています。

#### ●リスクマネジメントシステムの推進

組織の事業活動の中で想定されるリスクを洗い出し、そのリスクに対するマニュアルや規程類の確認を行っています。その上で組織全体で重要度の高いリスクに対しての対策や計画を策定しています。

#### ●財務報告の信頼性確保

財務報告の信頼性確保はもとより、業務の効率化及び「仕事の見える化」を推進するため、決算における業務処理、作業もれを点検するチェックリストの運用を行っています。

#### ●内部監査の専門性・信頼性

日本内部監査協会の認定資格である内部監査士の資格を取得した職員が、内部監査の専門性・信頼性の確保のために研修受講などにより、監査能力の向上に努めています。

### コンプライアンスの推進

法令・内部規則だけでなく、倫理面でも組合員・社会の期待に応えられる行動や判断を行うための指針として行動規範を定めています。

#### ●行動規範カード

「パルシステム東京行動規範」の本文を掲載した「行動規範カード」を役職員は常に携帯します。カードには「行動規範」のほか、「コンプライアンス相談窓口連絡先」「ここからだの健康相談窓口」「交通事故発生時の対応」「災害発生時の安否連絡手段」などを掲載しています。

#### ●相談窓口（ヘルプライン）

職員からの相談案件に対応するほか、違反行為の防止や、迅速な是正を目的に設置しています。

#### ●コンプライアンス委員会

専務理事のもとに設置され、常勤理事及び執行役員並びに2人の外部有識者で構成。特に外部有識委員（弁護士、コンプライアンス専門家）の意見・具申は、効果的な牽制機能となっています。



生活協同組合

パルシステム東京 <https://www.palsystem-tokyo.coop/>

本部事務所 ————— 〒169-8526 新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿  
TEL 03-6233-7600(代) FAX 03-3232-2581  
Eメール palsystem-tokyo@pal.or.jp

配送センター ————— 江戸川センター 〒132-0025 江戸川区松江2-10-18  
江東センター 〒136-0076 江東区南砂2-36-1  
足立センター 〒121-0011 足立区中央本町4-3-7  
港センター 〒108-0075 港区港南5-5-12  
大田センター 〒146-0081 大田区仲池上1-31-1  
板橋センター 〒174-0041 板橋区舟渡3-20-28  
池尻センター 〒154-0001 世田谷区池尻2-23-4  
練馬センター 〒179-0073 練馬区田柄4-38-5  
世田谷センター 〒157-0061 世田谷区北烏山7-21-11  
狛江センター 〒201-0003 狛江市和泉本町4-5-24  
三鷹センター 〒181-0013 三鷹市下連雀6-15-18  
府中センター 〒183-0052 府中市新町2-29-4  
東村山センター 〒189-0011 東村山市恩多町1-10-1  
多摩センター 〒206-0032 多摩市南野1-2-5  
昭島センター 〒196-0021 昭島市武蔵野2-23-2  
八王子センター 〒192-0033 八王子市高倉町4-7  
青梅センター 〒198-0024 青梅市新町3-11-1

福祉事業所 ————— ● 江戸川陽だまり 〒132-0025 江戸川区松江2-10-18  
● 辰巳陽だまり 〒135-0053 江東区辰巳1-2-9-101  
● 辰巳陽だまり 〒135-0053 江東区辰巳1-1-34 辰巳ビル3F  
● 東雲陽だまり 〒135-0062 江東区東雲2-4-3-106  
● 足立陽だまり 〒121-0011 足立区中央本町4-3-23 2F  
● 八潮陽だまり 〒140-0003 品川区八潮5-2-2 八潮ビル2・3F  
● 中野陽だまり 〒164-0003 中野区東中野4-7-9 1・2F  
● 第2中野陽だまり 〒164-0003 中野区東中野1-4-10  
● 中野中央陽だまり 〒164-0011 中野区中央5-41-18 東京都生協連会館5F  
● 上町陽だまり 〒154-0017 世田谷区世田谷2-8-2 パルテノン上町1F  
● 狛江陽だまり 〒201-0003 狛江市和泉本町4-5-24  
● 府中陽だまり 〒183-0054 府中市幸町2-13-29  
● 府中陽だまり 〒183-0054 府中市幸町2-13-30  
● 東村山陽だまり 〒189-0011 東村山市恩多町1-10-1  
● 愛宕陽だまり 〒206-0041 多摩市愛宕3-2

● デイサービスセンター  
● ホームヘルプサービス  
● ケアマネジメントサービス  
● 認知症対応型デイサービスセンター  
● 認知症対応型グループホーム

保育園 ————— ばる★キッズ府中 〒183-0054 府中市幸町2-13-29 1F  
ばる★キッズ足立 〒121-0011 足立区中央本町4-3-23 1F

関連施設 ————— パルひろば辰巳 〒135-0053 江東区辰巳1-1-34 辰巳ビル2F  
パルひろば足立 〒121-0011 足立区中央本町4-3-23 3F  
パルひろば下馬 〒154-0002 世田谷区下馬4-13-6



公式サイト・  
SNSはこちら

